

1. 件名：日本原子力発電（株）敦賀2号機のボーリング柱状図データ書換えの原因調査分析に関する面談

2. 日時：令和3年4月27日（火）16時00分～16時30分

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部検査グループ検査監督総括課

竹本企画調査官、米林主任検査監視官

原子力規制部検査グループ専門検査部門

小坂企画調査官、新岡検査技術専門職

原子力規制部検査グループ実用炉監視部門

反町主任監視指導官

日本原子力発電（株）

発電管理室 室長代理 他3名

5. 要旨

○日本原子力発電（株）から敦賀2号炉のボーリング柱状図記事欄の記載変更に関する根本原因分析の計画について、資料に基づき、以下の説明を受けた。

➤ 時系列の作成及び問題点の抽出については、4月15日、16日の本店での原子力規制検査の結果を踏まえ、誤記に関する事項と上書きをするに至った事項を明確に分けて取扱うこと等について再整理を行っており、5月10日の週にはその作業が整う見込み。

○原子力規制庁は、次回の原子力規制検査の日程について、緊急事態宣言発令後の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づく緊急事態措置区域の状況等を踏まえて、改めて日程調整する旨を伝えた。

○日本原子力発電（株）から了解した旨の回答があった。

6. その他

資料：根本原因分析実施スケジュール（予定）改2（2021年4月27日時点）